

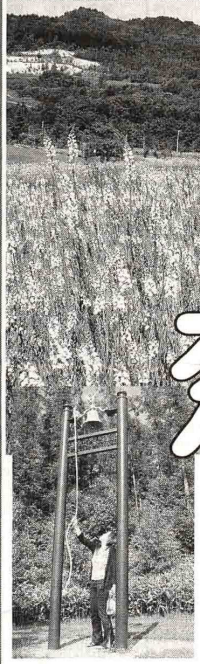
スポニチと北海道ウォーカーがコラボレート

リナリア100万本

札幌から車で1時間ゆにガーデンで見よう

本格的な暑迎え、ドライやレジャーなどいろいろな計画を練りだしている方も多いのでは。札幌から車で1時間ほどの場所にある英園風庭園「ゆにガーデン」では、季節によってさまざまな花を楽しんでいこう。7月にはリナリアが見える。園内にはレストラン、フレッションショップなどもあり、恋人同士や家族連れなど幅広い年代で楽しめるリジャースポットとなっている。

「ゆにガーデン」で見ごころの花を植え、幸せが訪れるという



恋人の聖地

「ゆにガーデン」はギリシアのロンドン西部のキーツにある世界遺産の王立植物園を本にして造られた庭園。14社と札幌ドーム



広大な英国風庭園

約10個分の広大な母地に広がり、敷地内にはテーマごとに分かれた18の庭園と広場がある。4月中旬から10月末まで約600種類の花々が楽しめる。センターハウスの入り口を抜け、庭園内に入る手すりに飛び込むのが、一面に広がる広場。子供たちが素足で走り回り、大人が寝転んで心地良い風を感じたりと、ゆったりとした時間を味わうことができる。

幸せ呼ぶ鐘、メッセージ付き苗植える花壇も

「ゆにガーデン」最大の売りである、リナリアの花畑。リナリアは腰ほどの高さがあり、ランペーターのような形。先陣は白、ピンク、紫色の小さな花が密生しており、今月がピークという。今年はこれまで3倍の面積にリナリアを植樹し、最盛期には100万本以上が庭園を彩る。また庭園内の奥にある「フレックスガーデン」は香りをテーマにした庭園。植物に直接手を触れて楽しむ。今月は日本のエ

リが咲き乱れている。ほかにもスイレンや花菖蒲（よもぎ）といった水生植物が見られるウォーターガーデン。アステルベ、リアトリフ、サルビアといった花々も迎える。これだけの花に囲まれた庭園だけに音感には弱も。ゆにガーデン支配人の大西明さんは「これだけ広い土地なので、場所によって当たり方や水はけが違う。植物の『顔』を見ながら、丁寧に管理していきます」と話す。そして、花以外にも、多所がある。今年4月1日に道内で厚田公園展望台、朝語山頂、イサの嶺、鶴岡ワナリー右廻り倉庫、蔵に次ぐ4番目の恋人の聖地」に認定されたゆにガーデン。これは「恋人の聖地プロジェクト」の選定賞である。デザイナーの桂田美さんが全園代表する「リジャースポット」として選定したもので、104段の階段を上ったのが着く小高い丘の上にはモニュメント、鳴らすと幸せが訪れるというカゼの鐘がある。そして近くにはハート形をした花壇があり、リナリアの苗にメッセージをつけて植えることができる。恋人に限らず、家族で幸せを祈るメッセージを書き入るも多い。ちなみに、リナリアの花言葉は「私の心を知りたい」といふことだ。

格安の新鮮野菜販売

〇：入りの隣では由産野菜、果物やハーブ花苗が販売されている。農家から直送されたもので値段も格安。例えば、キャベツやほうれん草が1玉100円程度と、市場の半値。並んだ野菜や果物はその日の朝に摘み取られたもので、鮮度も抜群だ。

☆ゆにガーデン 空知管内由利町 町民134-1211 011233-827001 営業時間は午前10時から午後6時（入園受付は午後5時30分まで。9月以降は各1時間ずつ繰り上げ。入園料は大人800円、小学生以下300円。